

平成28年度第1回大町市ケーブルテレビ放送番組審議会 議事録（要旨）

開催日時	平成28年11月15日（火） 午後3時30分から
開催場所	大町市総合情報センター テレビ会議室
出席者	
審議会委員	伊藤彰一、降旗和幸、川上 洋、北澤米子、平林 操
事務局	大厩市郎、藤巻孝之

報告事項

（委員からの意見等）

- 前回の審議会で提案した（市議会中継の休憩時の対応）ものについては、すぐにやっていただき、番組としてわかるものになった。
- 国際芸術祭については、市民の関心も高く、理解がされていない面もあると思うので、PRの番組をやってもらうとよいのではと思う。
- AIRと芸術祭の違いを理解していない人が多いので、わかるように取り組んでもらえるとよい。
- 芸術祭については、一部で反対の意見もあるので、市民と共同でやるのが大事で「ものがこうだ」というものをわかってもらうことが必要で、紙で理解してもらうより、映像で見ってもらう方がよいので、ぜひ番組でやってほしい。
- 逃した番組があって残念だったが、民放などは毎日番組表があるが、ケーブルテレビも確認できる方法があればいいが
- 運動会は全部の園・小学校を放送しているか。

（事務局から）

- 担当のまちづくり交流課に話をしているが、展示場所（アートサイト）が決まり次第番組で紹介していきたい。定例記者会見では毎月触れてもらうようにしている。アーティストインレジデンス（AIR）事業の放送を予定している。
- テレビでもリモコンで番組表が確認できる。信毎・大糸タイムスでも番組表を掲載している。信毎は簡単なタイトルのみ、毎日載せている。文字数の制限があり簡単な紹介であるが掲載している。それらを活用いただきたい。
- 運動会は、全部の園、小学校で放送している。

審議事項

（委員からの意見等）

- CS放送は、CSのアンテナは情報センターで上げているのでは。
- 冬はスポーツ番組が少なくなるが、市民スキー大会など収録してもらえるので、今年もぜひお願いしたい。
- 空手の宇海水稀選手もオリンピック種目になるので頑張ってもらいたいと思うし、トレイルランの上田瑠偉選手もユニバーシアードで優勝したと思う。知っている人が少ないので、どこかで取り上げてはどうか。

- 地域の情報をどんな形で、情報センターに届けられるのか。地域の細かな情報をキャッチできればよい。探しに行くようだと大変であるので、情報を届けてもらえるような情報網を作っておけば、ニュースでもいいものがあれば、すぐに取材に行けると思う。昔は、写真を撮ったら情報センターに送ってほしいというのがあったが、最近はそういうことが無くなった。ケーブルテレビに親しみを持つためには、個人の写真でも送ってもらえば、つながるのではないかな。もう一度そんなことも考えてもらえればよい。
- 見る人が増える方策を考えないと、いくら放送をしても見てくれる人がいないと困る。視聴する会員が増えるように結びつく情報を取っていかないといけない。
- 2件ほど勧誘したが、いろいろと事情があって加入が実現していない。残念に思う。
- 引込工事費負担金は加入のネックになる。価格を下げる方策を考えてもらえないか。新規に加入するときの費用負担が少なくなるように予算を確保して、加入が増えるような方策をお願いしたい。年々減っていくようでは困る。
- 減る要因はなにか
- 審議会から加入時の料金を下げてはどうかという要望があったと財政部署に伝えてはどうか。
- たとえば、半額キャンペーンがあってもよい。常にではなく、期間を限定して2カ月とか半年とか。一人でも加入してもらえば見てもらえるので。公平という観点からは問題があるかも知れないが。当初のときは加入時の負担がなかったもので、できるのではないかな。安くして加入になれば、そのあとに利用料が入ってくれば安定した運営につながる。
- 3月、4月の異動の時期だけでも減額するなど期間限定でやってはどうか。
- 条例は変えていけばいいのでは。そこは、うまく考えてもらってはどうか。
- 分母が減っているのは、市民の人口減少があるからか。対策は大町地区に向けてなど考えてみてはどうか。いい景色は心に残るので、色鮮やかなハイビジョン映像で、例えば霊松寺の紅葉の進み具合が時期になると気になる。定時に流すのはどうか。それが加入促進にもつながると思う。
- 放送されていてもどこでやっているか知らないものもある。
- せっかく大町のいい景色があるので、見頃の情報をもらえると多くの人が行くと思う。大町市の世帯数はどのくらいか。採算はどうか。
- ケーブルテレビは何年目になるか。機器は大丈夫か。

(事務局から)

- CS放送は、山口県で衛星に向けて電波を発して、ここで受信している。山口県での天候により影響がある。こんな番組があれば、というご意見があれば出してほしい。
- 宇海さんは、山梨の高校に在籍し、奥原希望さんは実業団など制約があるので難しい面がある。取材しやすいので地元に戻られたときに対応したい。上田選手は、市長との対談があったので資料映像として取材をしている。
- PRが不足しているが、リポーター制度があり、一般の方が市内のイベントに取材に行って提供いただくという制度はあるが、あまり利用されていない。情報収集では広報とケーブルテレビに取材依頼が来る。市役所内部からも情報提供がされ、取材スケジュール調整や選択しながら、きらりステーションに5本から6本のニュース選択をして番組を制作している。ほしい情

報があまりこない。市民活動サポートセンターに地域の情報が集まるので、協力しながらやっていきたい。

- 文化祭の11月3日午後にケーブルテレビのPRをした。引込工事費がなければ加入しますという方はいた。新築なら定住の補助制度があるので、お知り合いなどで機会があれば誘っていただきたい。
- 加入者が減る原因は、八坂・美麻で一人暮らしの世帯がなくなったり、施設に入ったりすると空家になってしまうため、ケーブルテレビを止めることになる。旧大町市は若干増えている。加入時の工事費半額補助などの要求をしているが、公平の面等で難しい。
- いろいろ条例などの縛りがあり、難しい
- 霊松寺にケーブルが行っていないが、確かにお客さんが多いのは知っている。ライブ中継は難しいが、道路や大町ダムなどの情報はライブカメラ映像を流している。
- 採算は取れている。民間の方からすると償却が含まれないので、厳しいと思うが。人件費も含まれている。
- ケーブルテレビは開局して6年目。機器はまだ大丈夫である。7年目で一つの区切りが来る。7年ですぐには更新しないが、何十年ももつ機器もあるし、一定期間で更新するものもある。

#### 番組の視聴と感想等

(委員からの意見等)

- 野菜づくりについて、勉強になっている。毎年やっているが、その時期にやっているのだから、農業を専門にしていなくても助かっており見せてもらっている。
- 野菜づくりだけでなく、趣味の番組も取り組んでもらえればよい。
- きらりステーションは、欲を言えば1週間同じではなく1週間に2回ほど細かくやってもらえるといい。難しいかもしれないが、将来的に検討もらおうといい。いろんな行事を取材しニュースでやってもらえるよう続けてほしい。
- 民放の方と話したときに、映像の編集方法が昔と変わってきてテロップをどんどん入れるようになって音声も消しても文字だけでわかるようになったが、全部テロップを出すと、ちょっと“うざいな”という感じになる。個人的にはテロップはあまりない方がよいと思う。
- 天気予報はケーブルテレビで見えるようにしている。
- 天気は、民放より細かい情報が出ているので、助かっている。
- 大勢の方に観てもらえるようにご意見があれば直接話してもらってもよい。
- 以前、BGMで音が大きかったことがあったが、最近は良くなっている。

(事務局から)

- 野菜づくりは毎年やっているのだから、同じような内容になってしまう。今年は初心者のレポーターを入れてやってみた。毎年同じにならないように工夫している。参考になると視聴者からご意見をいただいた。根強いファンもいるようだ。
- 番組制作は民放と違ってスタッフの数も異なるため、凝った作りはできないのが現状。1週間に2回とのご意見もいただいたが、限られた予算と人数のなかで、できる範囲で新しい取り組みをしていきたい。

- 天気はエリア別に細かに流すようになっている。ケーブルテレビだけが見られるものである。  
天気予報は常時見ることができる。
- 天気予報は気象協会から情報をとっている。